

図書館通信



画：長田 清（登別美術協会）

豊かな時間を図書館で

令和3年
(2021年)

10



月号

第485号 (第40巻第6号)

【目次】

- | | | | |
|-----|---------------|------|--------------------------|
| P 1 | 講演会と関連展示のお知らせ | P 6 | 職員コラム |
| P 2 | 行事と展示のお知らせ | P 7 | 職員のおすすめ本 |
| P 3 | 雑誌の休刊とご寄附の報告 | P 8 | 新着図書案内 |
| P 4 | アーニス分館だより | P 12 | カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内 |
| P 5 | 市民のひろば | | |

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

文化講演会「映画の始まりとは」

映画の機材はどの国で、誰が発明したのかという歴史から、日本での映画の始まり、当初の活動写真の状況・映写機材などの種類の紹介、また今の上映法に至るまでを「登別映像機材博物館」山本 敏(やまもと びん)さんにご講演いただきます。

撮影現場における撮影用語や隠語の解説など、映画にまつわる様々なお話をしていただく予定です。ぜひご参加ください。

会場 本館3階会議室

日時 11月3日(水) 13:30-15:00

定員 15名

申込 事前申し込みは不要です。当日会場までお越しください。



ロビー展示

「映画・映像の本」

映画・映像の本の展示を行います。講演会と併せてぜひご覧ください。

場所 本館1階ロビー

期間 10月22日(金)～11月7日(日)



映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は2日です！（毎月第1土曜日に開催しています）

こども映画会 「ふるさと再生 日本の昔ばなし」（アニメ 約30分）
10時30分～ ◎TVで放映されていたシリーズから厳選した3話を上映します。
※次回は「藤城清治 影絵劇」から「ブレーメンのおんがくたい」を上映します！

名画鑑賞会 「プロフェッショナル 仕事の流儀」（43分+43分）
13時30分～ ◎「その道のプロ」を紹介する番組から「編集者 石原正康の仕事」
「バレエダンサー 岩田守弘の仕事」の2本を上映します。
※次回も、今回と同じシリーズから「文化財修理技術者 鈴木裕の仕事」
「歌舞伎役者 坂東玉三郎の仕事」の2作品を上映します！

おはなし会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい（絵本や紙芝居の読み聞かせ）

日時 10月 9日（土） 14時より ※毎月第2土曜日



②おはなしぽけっと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 10月23日（土） 13時30分より ※毎月第4土曜日

ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

「9月は『世界アルツハイマー月間』です」（共催：登別市健康長寿グループ）

「国際アルツハイマー病協会」（ADI）は、世界保健機関（WHO）と共同で1994年に毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定、また9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な認知症の啓蒙活動を実施しています。

これに併せてアルツハイマーや認知症に関する本の展示を行います。

食事や運動、福祉サポート、また自分や家族・友人が認知症になった時にどうするか、などアルツハイマーや認知症についての様々な種類の本を展示します。ぜひご覧ください。

期間：10月1日（金）～20日（水）



「自殺を防ぐための展示」 期間：10月1日（金）～14日（木）

登別市は2019年に「生きることを支え合う自殺対策条例」を道内で初めて施行し、また「登別市自殺対策行動計画」を策定し全市を挙げて自殺予防に取り組んでいます。

これに併せてこころの健康に関する本の展示を行います。

ご寄附の報告

8月20日（金）、日本製鋼所室蘭労働組合青年女性協議会様より、図書館児童室に設置する貸出カウンターをご寄贈頂きました。

これまで使用していたカウンターは開館当時に設置されていたもので、かなり老朽化が進んでいたうえに少し背が高いものでしたが、今回のご寄贈によるリニューアルでお子さんにも手が届く高さになって利用しやすくなったことに加え、館内の雰囲気がとても明るくなりました。

8月下旬から臨時休館が続いているため、まだ皆様にお披露目できておりませんが、図書館が再開した際には是非ご利用ください。

また、8月27日（金）には新和産業株式会社様より、同社の「伊達直人プロジェクト」による図書購入費のご寄附を頂きました。

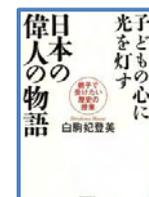
このプロジェクトでは、子どもたちの健全な育成にむけて「未来」「学習」「喜び」などをテーマとして各地で寄付活動を展開されており、登別市立図書館では平成28年度より継続して図書購入費のご寄付を賜っております。

これまで、未来に向けての書籍や調べ学習などに活用できる資料など50冊を超える図書を購入させていただいております。今年度も、プロジェクトのテーマに沿った図書を選定して購入させていただきます。

皆様から賜りましたご篤志に改めて御礼申し上げます。
どうもありがとうございました。



<寄贈頂いたカウンター>



<これまで寄附金で購入した図書の一部>

雑誌受入れ停止のお知らせ

本館受入れしていた雑誌「MyLoFE まいろふえ」は2021年7-8月号をもってWEBマガジンに移行したため、寄贈が終了しました。

今後「MyLoFE まいろふえ」はバックナンバーのみの貸し出しとなります。（保存期間は発行から10年間）



アーニス分館だより

アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



延期になっていた【しおり作りのイベント】を開催します。

開催日時 10月16日(土) 午前11時から 図書館内の閲覧室にて開催



広くなったカウンターの一番手前にデジタル分館体験コーナーができました！【デジタル分館】って何？インターネットを通じて、スマートフォンやパソコン・タブレットで電子書籍を読む事ができる【電子図書館】のことです。興味がある方は、一度アーニス分館に立ち寄って、体験してみませんか？

《新刊おすすめ雑誌紹介》

人気雑誌『オレンジページ』が仲間入りました！

《暮らしに「おいしい」と「ワクワク」を。》

をコンセプトにした 幅広い女性に支持されている生活情報誌です。毎日のおかず、お弁当やスイーツ、その時期の旬な食材を使った季節のご馳走まで、編集部が試作を重ねた失敗なく作れるおいしいレシピがたっぷり掲載されています。生活に役立つ情報も教えてくれるので、とっても参考になりますよ♪



図書館は楽しい

図書館に頻繁に行く様になったのは10年前くらいから…。

家と職場の通り道に図書館があるので、仕事の帰りに寄っては新しく買った雑誌を見た後、気になる本を借りて読み、仕事に行くときに読み終わった本を返す、という私にとってはとても気軽な場所になりました。

あらためて思いかえすと、初めて図書館を利用したのは高校生。

勉強?の為に友達数人と行って、おしゃべりして注意された記憶もよみがえりました。その後は子育て中。子どもと絵本を借りに行ったり、3階で行われる作品作り（七夕かざり、年賀状作り、他）の楽しい活動を親子で楽しませてもらいました。

そして現在は、子ども達に絵本を読む機会が多いので子ども達の喜ぶ様子を想像しながら、司書さんのおすすめ本も教えてもらいながら絵本を選ぶ時。読んでいる時の子どもの表情をリアルタイムで見られる時が楽しい。

それから年齢も人生経験も様々な大人が絵本を見ながら、目をキラキラさせて「かわいい」「すてき!」「どうなるの〜?」とワクワクしながら見た後の好き勝手なおしゃべり。これが最高に楽しい。

図書館通信が出るたびに、新着図書案内の中から手当たりしだいに気になる本を予約して（絵本・小説・文学・他）、色々なジャンルの知らない発見をするのもとても楽しい。

私にとって図書館は本を借りるだけの場所ではなくて、人とのつながり、楽しさを共有する場になっているから楽しいんだと気がつきました。

これからもワクワクしながら図書館に行こうと思っています。



「かおかおどんなかお」

柳原 良平/作・絵 こぐま社/発行

能登さんにはおすすめの本を1冊選んでいただきました。

この本はお孫さんが大好きで、読み聞かせをすると0歳児頃はじっと絵を見つめていただけだったのが、1歳児頃にはいろんな顔に反応するようになり、2歳児になると自分で手に取って見るようになっていたそうです。笑った顔、怒った顔、泣いた顔…読んでいる人みんなで同じ顔を真似して遊べる楽しい絵本です。



また登別市立図書館が行っている、4か月児健診時に絵本をプレゼントする活動「ブックスタート」で、配布している0-1歳児向けおすすめ絵本のリストにも掲載しています。

避難所

図書館長 綿貫 亨

私の家から徒歩で数分のところに埼玉県立図書館があった。自ずと遊び場になった。1階の児童室で友だちとおしゃべりしたり、中学に上がると2階の広大な閲覧室で勉強した。周りを見渡すといつも同級生の顔があった。学区内にあったからだ。夏休みには座席を求めて玄関前に長蛇の列ができた。開館の30分前から整理券が配られていた。

「音楽の夕べ」のような催しもあった。司書がレコードをかけて1曲ごとに解説していた。

利用者に干渉しないこの図書館はとても人気があった。時は過ぎて私も司書になり、県の研修会がここで開かれた。挨拶に立った図書館長を見て驚いた。私の恩師だった。

川越には市立の図書館もあったが、古くてこじんまりとしていた。玄関でスリッパに履き替えて上がるので医院のようだった。伊達がそうなので行く度に昔の川越を思い出す。

ここは本当に時が止まっていた。小さな閲覧室には女性司書が静かに仕事をしていた。ゆっくり流れる時間と静謐な空気が心地良かった。ここにいると「煩わしい世間から隔絶されて心が自由になれる場所」と強く感じた。これは私の図書館観に影響を与えている。

高校時代には東京の板橋区立中央図書館に通い詰めた。入学した都内の高校がつまらなくて厭で堪らず、途中下車しては図書館に行った。図書館は私の駆け込み寺だった。東京と埼玉のあちこちの図書館で一日を潰した。なぜか板橋に落ち着いた。ここで中核派や革マル派の機関紙を見つけて読み耽った。心が荒んでいたのだろう。古いレコードも多く、色褪せた日本のフォークアルバムが山のようにあった。ギターをしていたので、1枚ずつ抜き出してはヘッドフォンで聴いた。そして地下の食堂でラーメンを食って帰った。

浪人時代には新宿区立中央図書館が取って代わった。予備校が高田馬場だったからだ。ここは失業者や無職・受験生でごった返していた。ここほど人で溢れていた図書館を知らない。空席などないから誰もが何十分でも立ち読みしていた。場外馬券場のようだった。

この春、その板橋区立中央図書館がとうとう新しくなった。新宿区立中央図書館も数年前に戸山に移転している。思い出の県立川越図書館も今は無い。川越の市立図書館はバブル期に地下駐車場も完備した豪華な図書館に建て替えられた。新旧の落差に目眩がした。20年勤めた市役所を辞めて無職になったときも、新しい図書館は私を迎え入れてくれた。

大学時代に書店でアルバイトをしていた。図書館と書店は似て非なるものだ。

「人生が順調にいつている人は図書館にあまり足を運ばない」という。文化施設だけでは捉えきれない、もっと大きな、セーフティネットとしての役割が図書館にはあるからだ。

図書館をどう使うかは利用者の自由だ。図書館は利用者によって、いかようにも姿を変えてくれる。図書館には場所としての力がある。私はそれを信じている。

私のおすすめ本

事務担当 寿々来✳英雄

「真田十勇士 1～3」

小前亮／著 小峰書店／発行

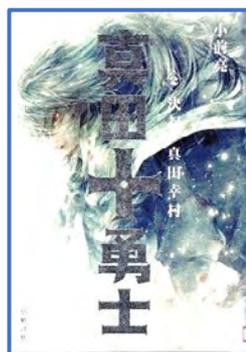
豊臣家の恩顧に報いるため、最後まで戦おうとする真田家。そして、強烈な個性と秀でた一芸で主君 真田幸村を盛り立てる、文字通り十人十色の勇士たち。

全 3 巻のボリュームですが大変読みやすく、あっという間に物語の世界へ引き込まれて一気に読破してしまいました。児童書として出版されているのですが、大人が読んでも楽しめる作品です。

— 忍びは闇に生きるもの。けれど闇の中でもまっすぐに生きることはできる。 —

猿飛佐助が師から言われるこの言葉。

現代を生きる私たちも（忍者ほどではないかもしれませんが）、「光が当たらず、表舞台から遠い地味な境遇」に置かれることも多いですが、佐助のように純粋な心を忘れず、まっすぐに生きたいと願わずにいられません。



電子書籍紹介

「コンピューターってどんなしくみ？ 子供の科学★ミライサイエンス」

-デジタルテクノロジーやインターネットの世界を超図解-電子書籍版」

村井純・佐藤雅明／監修 誠文堂新光社／発行



私たちの生活に欠かせない存在となっているコンピューター。本書ではパソコンやスマートフォンだけでなく、炊飯器など家電の例を含めてコンピューターの仕組みを図解しています。

また、コンピュータープログラムでの考え方やインターネット・動画配信などの仕組みも解説されており、普段何気なく利用しているコンピューターについて知ることができる1冊です。

このほか、インターネットにおいて何が危険でどのように守れば良いのかについても触れられています。

コンピューターは難しいと思われがちですが、本書は児童向け書籍のためとてもわかりやすく書かれていますので、お子さんやお孫さんとご一緒に如何ですか？

新 着 図 書 案 内 令和3年10月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

| 書 名 | 著 者 | 書 名 | 著 者 |
|---------------------------------|---------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 0 総記 | | ● 世界でいちばん幸せな男 | エディ・ジェイク |
| “ひとり出版社”という働きかた | 西山 雅子 | 高地文明 「もう一つの四大文明」の発見 | 山本 紀夫 |
| 良いデジタル化悪いデジタル化 | 野口 悠紀雄 | 埴輪は語る | 若狭 徹 |
| 1 哲学・宗教 | | 古代史講義 氏族編 | 佐藤 信 |
| ● イラストですぐわかる！息子のトリセツ | 黒川 伊保子 | 下剋上 | 黒田 基樹 |
| 死る旅 | 松原 タニシ | 北海道・北東北の縄文遺跡群を旅するガイド | 昭文社 |
| 死者の告白 30人に憑依された女性の記録 | 奥野 修司 | 3 政治・経済・社会・教育 | |
| 世界の幽霊出現録 | ブライアン・インズ | インドネシア 世界最大のイスラームの国 | 加藤 久典 |
| 日本で一番わかりやすい四柱推命の本 | 林 秀静 | ● 立花隆 最後に語り伝えたいこと | 立花 隆 |
| はじめての哲学 | 藤田 正勝 | 名画のドレス 拡大してみる60の服飾小事典 | 内村 理奈 |
| 生物学的に、しょうがない！ | 石川 幹人 | ● タイムズ「未来の分岐点」をどう生きるか | 真山 仁 |
| 何者かになりたい | 熊代 亨 | 楽観論 | 古市 憲寿 |
| 2 歴史・地理 | | 自壊する官邸 | 朝日新聞取材班 |
| 沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う | 山船 晃太郎 | 重要証人 ウイグルの強制収容所を逃れて | サイラグル・サウトバイ アレクサンドラ・ヴェーリウス |
| 歴史の鑑定人 | ネイサン・ラール ルーク・パール | 世界は広島をどう理解しているか | 井上 泰浩 |
| なぜ連合国が勝ったのか？ | リチャード・ オウヴァリー | ラストエンペラー習近平 | エドワード・ ルトワック |
| ● 逆説の日本史 26 明治激闘編 | 井沢 元彦 | 日韓「歴史認識問題」の40年 | 西岡 力 |
| 日本の先史時代 旧石器・縄文・弥生・古墳時代を読みなおす | 藤尾 慎一郎 | 中国「見えない侵略」を可視化する | 読売新聞取材班 |
| 刀伊の入寇 | 関 幸彦 | 哲さんの声が聞こえる 中村哲医師が見たアフガンの光 | 加藤 登紀子 |
| ● 室町は今日もハードボイルド | 清水 克行 | ニセ札鑑定人の贋金事件ファイル | 吉田 公一 |
| 禍いの大衆文化 | 小松 和彦 | 投資の基本ゆる図鑑 | 伊藤 亮太監修 |
| 大正史講義 | 筒井 清忠 | 日本金融百年史 | 横山 和輝 |
| 大正史講義 文化篇 | | 徳川幕府の資金繰り | 安藤 優一郎 |
| 大東亜戦争 上・下 | 波多野 澄雄 ほか | 実録脱税の手口 | 田中 周紀 |
| 大東亜戦争の事件簿 | 早坂 隆 | 異文化コミュニケーション学 | 鳥飼 玖美子 |
| 平成史 昨日の世界のすべて 1989-2019 | 與那覇 潤 | 北前船が運んだ民謡文化 | 三隅 治雄 |
| 第七師団と戦争の時代 | 渡辺 浩平 | 差別はたいてい悪意のない人がする | キム ジヘ |
| 漂流者は何を食べていたか | 椎名 誠 | 「給与明細」のカラクリ | 梅田 泰宏 |
| 北海道遺産完全ガイド | 佐藤 圭樹 | プロジェクト・ファザーフード | ジョルジャ・リープ |
| シルクロードとローマ帝国の興亡 | 井上 文則 | おひとりさまの終活 | 神田 紀久男 |
| 物語パリの歴史 | 福井 憲彦 | マチズモを削り取れ | 武田 砂鉄 |
| 後列のひと 無名人の戦後史 | 清武 英利 | コロナ貧困 絶望的格差社会の襲来 | 藤田 孝典 |
| フランス革命の女たち | 池田 理代子 | これならわかる〈スッキリ図解〉 精神保健福祉制度のきほん | 二本柳 覚 ほか |

新 着 図 書 案 内 令和3年10月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

| 書 名 | 著 者 | 書 名 | 著 者 |
|---------------------------|--------------------------|---|----------------|
| リスク大全 | 深津 嘉成 | 学者の暴走 | 掛谷 英紀 |
| 戦争はいかに終結したか | 千々和 泰明 | 語りかける中学数学 | 高橋 一雄 |
| 金正恩と金与正 | 牧野 愛博 | 多様体とは何か | 小笠 英志 |
| 「言葉が殺される国」で起きている残酷な真実 | 楊 逸 劉 燕子 | 世界の天変地異 | マッティン・ヘッドベリ |
| ミャンマー政変 クーデターの深層を探る | 北川 成史 | ● 海がやってくる | エリザベス・ラッシュ |
| 14歳から考えたいレイシズム | アリ・ラッタンシ | グリーン・ニューディール | 明日香 壽川 |
| 女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい | 村中 李衣 | 生きている化石図鑑 | 土屋 健 |
| 少年法入門 | 廣瀬 健二 | 5 技術・工業・家事 | |
| ● 地球を壊す暮らし方 | ウルリッヒ・プラント マークス・ヴィッセン | こびとの世界 Mozuミニチュア作品集 | Mozu |
| 4 自然科学・医学 | | トコトンやさしい建設機械の本 | 宮入 賢一郎 |
| アカデミアを離れてみたら | 岩波書店編集部 | 日本全国ゴミ清掃員とゴミのちよっという話 | 滝沢 秀一 |
| 数学とはどんな学問か？ | 津田 一郎 | ごみ収集とまちづくり | 藤井 誠一郎 |
| 解けますか？小学校で習った算数 | 浜田 経雄監修 | ● 世界の名建築ヒストリア | マグダレーナ・イエレンスカ |
| 図解身近にあふれる「相対性理論」が3時間でわかる本 | 齋藤 勝裕 | 日本の乗用車図鑑 1992-1996 | 自動車史料保存委員会 |
| 古代文明と星空の謎 | 渡部 潤一 | 今すぐ使えるかんたんWi-Fi & 自宅LAN完全(コンプリート)ガイドブック | 芹澤 正芳 オンサイト |
| 図説100のトピックでたどる月と人の歴史と物語 | デイヴィッド・ウォームフラッシュ | 魔法のクローゼット | くぼしま りお |
| GIS地理情報システム | 矢野 桂司 | 60からは喜びはかけ算悲しみは割り算 | 沖 幸子 |
| 時間の日本史 | 佐々木 勝浩 ほか | ミニマリストの愛用品 | 宝島社 |
| 極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか | 川瀬 宏明 | 私がお金で困らないためには今から何をすればいいですか？ | 井戸 美枝 |
| 地球の未来のため僕が決断したこと | ビル・ゲイツ | ダーニング刺繍 | ミムラ トモミ |
| インド洋 日本の気候を支配する謎の大海 | 蒲生 俊敬 | 初めてでも作れる！ハンドメイドの帽子BOOK | mameco |
| 食べられる草ハンドブック | 森 昭彦 | 私がつって私がかときめく自家発電ブローチ集 | 光浦 靖子 |
| カイメン すてきなスカスカ | 椿 玲未 | ハギレ活用BOOK | 日本ヴォーグ社 |
| ● ぼくの昆虫学の先生たちへ | 今福 龍太 | はじめての手作り小物 | かつぱ |
| 虫のぬけがら図鑑 | 安田 守 | 美容皮膚科医が教える大人のヘアケア再入門 | 吉木 伸子 |
| 昆虫館はスゴイ！ | 全国昆虫施設連絡協議会 | 土木の仕事ガイドブック | 柴田 久編 |
| もしも人食いワニに噛まれたら！ | 福田 雄介 | 生きのびるための流域思考 | 岸 由二 |
| 海獣学者、クジラを解剖する。 | 田島 木綿子 | 環境専門家になるには | 小熊 みどり |
| クジラの骨と僕らの未来 | 中村 玄 | ● 国立競技場Construction | 共同通信社 |
| おもしろいネズミの世界 | 渡部 大介 | 日本の住宅一〇〇年 | 平凡社 |
| 隣のボノボ 集団どうしが出会うとき | 坂巻 哲也 | 核のゴミ | 古儀 君男 |
| 理系の「なぜ？」がわかる本 | 小谷 太郎 | 6 産業・商業 | |
| 宇宙人と出会う前に読む本 | 高水 裕一 | 農業消滅 | 鈴木 宣弘 |

新 着 図 書 案 内 令和3年10月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

| 書 名 | 著 者 | 書 名 | 著 者 |
|------------------------------|----------------|----------------------|---------|
| 6 産業・商業 | | 913 日本の小説 | |
| 食べものから学ぶ世界史 | 平賀 緑 | ● 兵諫 | 浅田 次郎 |
| 農家が教えるタネ採り・タネ交換 | 農文協 | 亜ノ国へ 水と竜の娘たち | 柏葉 幸子 |
| 岩合光昭み～んな元気ネコ | 岩合 光昭 | サイレント 黙認 | 神津 凜子 |
| 猫が30歳まで生きる日 | 宮崎 徹 | ● チングス紀 11 黙示 | 北方 謙三 |
| さっぽろ燐寸ラベルグラフィティー | 上ヶ島 オサム | ロータスコンフィデンシャル | 今野 敏 |
| 地図でたどる世界交易史 | フィリップ・パーカー | 水たまりで息をする | 高瀬 隼子 |
| 人とペットの赤い糸 | 越村 義雄 | まぜるな危険 | 高野 史緒 |
| 7 芸術・スポーツ | | ● 余命一年、男をかう | 吉川 トリコ |
| 全国山の美術館と博物館 | G. B. | 涙のあとに、微笑みを | 浅田 宗一郎 |
| はしもとみおの木彫り教室 | はしもと みお | 千里眼ノン＝クオリアの終焉 | 松岡 圭祐 |
| 山下清 あるがままの自分に正直に生きよ | 山下 浩監修 | オーバーヒート | 千葉 雅也 |
| 美貌のひと 2 | 中野 京子 | 貝に続く場所にて | 石沢 麻依 |
| いつでも君のそばにいる 葉っぱ切り絵コレクション | リト@葉っぱ切り絵 | ● 白光 | 朝井 まかて |
| ありがとう 絵本作家・田畑精一の歩いた道 | 田畑 精一 | 聖徳太子と蘇我入鹿 | 海音寺 潮五郎 |
| ムスコ物語 | ヤマザキ マリ | 北条氏康 2 大願成就篇 | 富樫 倫太郎 |
| 47都道府県・高校野球百科 | 森岡 浩 | ● もういちど(しゃばけシリーズ 20) | 畠中 恵 |
| 作ってあそぶ! ままごと&ごっこ | まるばやし さわこ | 猫弁と鉄の女 | 大山 淳子 |
| お菓子の箱だけで作るすごい空箱工作 | はるきる | 道化むさぼる揚羽の夢の | 金子 薫 |
| 日本刀の驚くべき技術 | 齋藤 勝裕 | 霧をはらう | 栗井 脩介 |
| いちばん親切な音楽記号用語事典 | 轟 千尋 | 星のように離れて雨のように散った | 島本 理生 |
| ルイ・アームストロング 生誕120年没50年に捧ぐ | 外山 喜雄 外山 恵子 | 紅きゆめみし | 田牧 大和 |
| ● 大事なものから捨てなさい | 中村 メイコ | 巨鳥の影 | 長岡 弘樹 |
| ● 活劇映画と家族 | 筒井 康隆 | 革命キッズ | 中路 啓太 |
| 影の不思議 | ウィリアム・ヴォーン | ● 能面検事の奮迅 | 中山 七里 |
| 誰も知らないとっておきの 世界遺産ベスト100 | 小林 克己 | 忌名の如き贅るもの | 三津田 信三 |
| 色えんぴつ画上達のポイント61 | 平尾 倫子監修 | 仮面家族 | 悠木 シュン |
| 遺言 野村克也が最期の1年に語ったこと | 飯田 絵美 | ブランド | 吉田 修一 |
| 本の力 私の絵本制作秘話 | 酒井 京子 | 桎梏の雪 | 仲村 燈 |
| 8 言語 | | 隠れの子(東京バンドワゴン 0) | 小路 幸也 |
| 読めますか? 小学校で習った漢字 | 守 誠 | 長い一日 | 滝口 悠生 |
| やさしい言語学 | 高橋 留美 ほか | 万事快調 | 波木 銅 |
| 気持ちを表すことばの辞典 | 飯間 浩明監修 | あなたにオススメの | 本谷 有希子 |

新 着 図 書 案 内 令和3年10月 No.4

広報のぼりべつでも新着図書の紹介をしています。

| 書 名 | 著 者 | 書 名 | 著 者 |
|--------------------|---------|------------------------------------|---------------------|
| 象の皮膚 | 佐藤 厚志 | ● 陰陽師 水龍ノ巻 （「陰陽師」シリーズ 短編集15） | 夢枕 獏 |
| ● 彼岸花が咲く島 | 李 琴峰 | ホワイトバグ生存不能 | 安生 正 |
| 追憶の鳥（八咫鳥シリーズ 2-2） | 阿部 智里 | ソウルハザード | 永山 千紗 |
| ヤスの本懐（ヤッさん ファイナル） | 原 宏一 | 雨の日は、一回休み | 坂井 希久子 |
| クレイジー・フォー・ラビット | 奥田 亜希子 | 9 その他の文学 | |
| 最後の挨拶 | 小林 エリカ | 印税稼いで三十年 | 鈴木 輝一郎 |
| 我が産声を聞きに | 白石 一文 | HONZが選んだノンフィクション | 成毛 眞 |
| もどかしいほど静かなオルゴール店 | 瀧羽 麻子 | 佐藤泰志をさがして 「幻の作家」はいかにして復活した | 成田 清文 |
| がん消滅の罨 2 暗殺腫瘍 | 岩木 一麻 | 証言・昭和の俳句 | 黒田 杏子 |
| 十津川警部裏切りは鉄路の果てに | 西村 京太郎 | 大岡信 架橋する詩人 | 大井 浩一 |
| 氷柱の声 | くどう れいん | ● 渡る世間にやじ馬ばあさん | 橋田 壽賀子 |
| QUEEN スカイマーシャル兼清涼真 | 麻生 幾 | 歴史探偵昭和の教え | 半藤 一利 |
| 琉球警察 | 伊東 潤 | 作家は時代の神経である コロナ禍のクロニクル2020→2021 | 高村 薫 |
| 明日は結婚式 | 小路 幸也 | ● 女性に関する十二章 | 伊藤 整 |
| Phantom | 羽田 圭介 | ねじねじ録 | 藤崎 彩織 |
| ワラゲル | 浜口 倫太郎 | 人間の使命 | 曾野 綾子 |
| ミラーワールド | 柳月 美智子 | アガワ流生きるピント | 阿川 佐和子 |
| 屋根裏のチェリー | 吉田 篤弘 | イン・マイ・ライフ | 吉本 由美 |
| スリーピング事故物件 | 西澤 保彦 | 沼で溺れてみたけれど | ひら りさ |
| 怪談まみれ | 深津 さくら | こどもは古くならない。 | 糸井 重里 |
| 変な家 | 雨穴 | ごきげんな散歩道 | 森沢 明夫 |
| 残響（警視庁監察ファイル 3） | 伊兼 源太郎 | 半歩先を読む思考法 | 落合 陽一 |
| ● 兇人邸の殺人 | 今村 昌弘 | ● 九十八歳。戦いやまず日は暮れず | 佐藤 愛子 |
| 噂を売る男 藤岡屋由蔵 | 梶 よう子 | ● メロンと寸劇 食いしん坊エッセイ傑作選 | 向田 邦子 |
| ● 硝子の塔の殺人 | 知念 実希人 | 朱泥抄 | 篠田 桃紅 |
| これはただの夏 | 燃え殻 | ドキュメントがん治療選択 | 金田 信一郎 |
| 原因において自由な物語 | 五十嵐 律人 | 開戦と新聞 | 後藤 基治 |
| たまごの旅人 | 近藤 史恵 | 違星北斗歌集 アイヌと云ふ新しくよい概念を | 違星 北斗 |
| ツタンカーメンの心臓 | 福士 俊哉 | 心経 | 閻 連科 |
| 葛登志岬の雁よ、雁たちよ | 平石 貴樹 | 三十の反撃 | ソン ウォンピョン |
| ● 結 妹背山婦女庭訓波模様 | 大島 真寿美 | 闇の魔法学校 Lesson 1 | ナオミ・ノヴィク |
| ● 暮鐘（東京湾臨海署安積班） | 今野 敏 | ● ヒロシマを暴いた男 | レスリー・ M. M. ブルーム |
| シークレット・エクスプレス | 真保 裕一 | ようこそ地獄、奇妙な地獄 | 星 瑞穂 |

改修工事のお知らせ

現在本館では暖房用ボイラー煙突の補修工事を行っています。
補修工事期間中は騒音や工事車両等において、ご迷惑をおかけいたします。
また工事期間中は館内暖房が使用できず、定期的な換気も行うため館内の温度の低下が予想されます。
利用者の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



登別市立図書館

図書館カレンダー 令和3年(2021年) 10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|------|---------------------------|--------------|--------------------|-------------------|
| | | | | | 1 | 2 映画会 |
| 3 | 4 本館休館 | 5 | 6 ブックスタート | 7 分館休館 | 8 | 9 えほんのへやのおはなし会 |
| 10 | 11 本館休館 | 12 | 13 | 14 分館休館 | 15 | 16 |
| 17 | 18 本館休館 | 19 | 20 | 21 分館休館 | 22 | 23 おはなしほけつと |
| 24 | 25 本館休館 | 26 | 27 ライブラリースタート おはなし会 | 28 分館休館 | 29 本館休館 分館休館 | 30 |
| 31 | 11/1 本館休館 | 11/2 | 11/3 文化の日 本館特別開館 | 11/4 分館休館 | 11/5 | 11/6 映画会 |

図書館施設案内

| | 本館 | アーニス分館 | 鷺別配本所 | 登別配本所 | こぐま号 |
|------|----------------------------|---------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------|
| 住所 | 中央町5-21-1 | 中央町4-11 | 鷺別町3-3-4 | 登別東町3-6-7 | 中央町5-21-1 |
| 電話 | 85-4324 | 81-2182 | 86-8823 | 83-1131 | 85-4324 |
| 休館日 | 月曜日・祝日・年末年始 毎月最終金曜日 | 木曜日・年末年始 毎月最終金曜日 | 年末年始のみ | | 日曜日・月曜日・ 祝日・年末年始 |
| 開館時間 | 10:00~18:00 (木曜のみ19:30) | 10:00~20:00 | 9:00~18:00 (昼休みあり) | 9:00~17:30 土日祝 17:00 | 巡回表のとおり |